

予算委員会

委員一覧 (45名)

委員長	前田 武志 (民主)	行田 邦子 (民主)	塚田 一郎 (自民)
理事	植松 恵美子 (民主)	榛葉 賀津也 (民主)	西田 昌司 (自民)
理事	川上 義博 (民主)	徳永 エリ (民主)	長谷川 岳 (自民)
理事	水戸 将史 (民主)	友近 聡朗 (民主)	福岡 資麿 (自民)
理事	森 ゆうこ (民主)	中谷 智司 (民主)	丸山 和也 (自民)
理事	磯崎 陽輔 (自民)	西村 まさみ (民主)	山崎 力 (自民)
理事	猪口 邦子 (自民)	安井 美沙子 (民主)	山田 俊男 (自民)
理事	衛藤 晟一 (自民)	山根 隆治 (民主)	山谷 えり子 (自民)
理事	加藤 修一 (公明)	吉川 沙織 (民主)	石川 博崇 (公明)
理事	小野 次郎 (みん)	米長 晴信 (民主)	草川 昭三 (公明)
	有田 芳生 (民主)	愛知 治郎 (自民)	長沢 広明 (公明)
	一川 保夫 (民主)	磯崎 仁彦 (自民)	桜内 文城 (みん)
	梅村 聡 (民主)	片山 さつき (自民)	大門 実紀史 (共産)
	小西 洋之 (民主)	川口 順子 (自民)	中山 恭子 (日改)
	小見山 幸治 (民主)	佐藤 ゆかり (自民)	福島 みずほ (社民)

(22.10.8 現在)

(1) 審議概観

第176回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十二年度補正予算3案であり、否決された。これらは、いずれも憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決(可決)が国会の議決となった。また、予算の執行状況に関する調査を行った。なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十二年度補正予算 平成二十二年度補正予算3案(第1号、特第1号、機第1号)は、10月29日国会に提出され、11月26日に成立した。

予算委員会では、衆議院から送付の後、11月18日、財務大臣から補正予算3案の趣旨説明を聴取し、同日から質疑に入り、26日、討論の後、否決された。なお、この間、22日には外交防衛・財政等に関する

集中審議が、25日には北朝鮮問題等に関する集中審議が、26日には懸案事項に関する集中審議が行われた。

主な質疑は以下のとおりである。まず、「今回、横浜で開催されたAPECの成果は何か」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣より、「今後の経済連携の方向性を示す横浜ビジョンをまとめることができた。これにより世界の成長センターであるアジア太平洋地域の更なる成長持続の道筋を打ち出すとともに、我が国も、貿易の自由化と農業再生を両立させ、アジア太平洋自由貿易圏の実現をめざしていくことを内外に示すこととなり、大きな成果があったと考えている」旨の答弁が行われた。

次に、経済問題について、「日本経済の現状と今後の見通しはどうか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及

び関係各大臣並びに日本銀行総裁より、「リーマン・ショック以降、昨年春頃より、景気は持ち直しの動きを続けてきたが、今年10月から足踏み状態が続いている。円高、海外経済の鈍化、依然として厳しい雇用情勢など懸念材料があり、こうしたリスクが顕在化しないよう、今回の補正予算を含む三段構えの経済対策を一体として講じるとともに、デフレ脱却に向け、政府と日銀が連絡を密にして最大限努力していきたい」旨の答弁が行われた。

また、財政税制問題について、「マニフェスト関連の施策を見直し、財源を捻出すべきではないか。法人税の引下げにどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及び関係各大臣より、「今年の参議院選挙の際、既にマニフェストの一部見直しを行った。今後については、例えば、子ども手当、高校無償化、農業の戸別所得補償等については、基本的な部分を変更することは想定しにくいものの、高速道路の無料化は、現在、社会実験を行っている最中であり、その結果を見極めながら最終的な判断をしていきたい。法人税の引下げについては、成長戦略との整合性、企業の国際競争力の維持向上、財源問題等を踏まえて、検討を進めている。国内外で、日本は法人税が高いので企業立地が難しいと言われており、こういった指摘も含め、勘案していきたい」旨の答弁が行われた。

このほか、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件、北朝鮮による砲撃事件、日米・日中関係、閣僚の発言をめぐる諸問題、防衛省の通達問題、政治とカネの問題、検察の改革、事業仕分けの在り方、宇宙政策への取組、新卒者等の雇用対策、社会保障の財源問題、障害者支援の在り方、

アスベスト対策、貿易の自由化、中小企業対策、郵政民営化等について質疑が行われた。

〔国政調査〕

予算の執行状況に関する調査として、以下のとおり、予算委員会が開かれた。

まず、菅内閣総理大臣の所信表明演説に対する本会議での各党代表質問の後、**10月14日、15日**の2日間、予算の執行状況に関する調査を議題とし、予算委員会が開かれ、質疑が行われた。

質疑では、菅内閣の基本姿勢、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件、外交・防衛に対する基本的考え方、日中・日米関係、日本版国家安全保障会議の設置、閣僚をめぐる諸問題、政治とカネの問題、公務員制度改革、特別会計及び独立行政法人の見直し、検察の改革、外国人による土地取得への規制の必要性、景気の現状と経済対策、経済連携協定、地球温暖化への対応、生物多様性条約への取組、医療の推進、少子化対策、母子向け予防ワクチンへの取組、雇用対策、口蹄疫被害農家への対応、郵政民営化の見直し、航空行政、新幹線整備の方針、地震対策、武器輸出三原則の見直し等の問題が取り上げられた。

また、**10月25日**には、経済・財政及び外交・防衛に関する集中審議が行われた。質疑では、新成長戦略と財政運営戦略、経済連携協定、対日投資、最低賃金の引上げ、政策コンテストの在り方、法人税の引下げ、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件、日米安保、武器輸出三原則の見直し、閣僚の発言等をめぐる諸問題、公務員制度改革、政治とカネの問題、検察の改革、奄美大島豪雨災害への対応等の問題が取

り上げられた。

さらに、11月17日には、外交防衛等に関する集中審議が行われた。質疑では、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件、日中関係、防衛省の通達問題、アフガニスタンへの自衛隊医療部隊の派遣、APECの成果、貿易の自由化、朝鮮学校に対する

高校無償化の適用、閣僚の発言をめぐる諸問題、男女共同参画基本計画の改定、検察の改革、会計検査院の機能強化、労働者派遣法の改正、中小企業対策、八ッ場ダム建設の是非、地方経済の現状と地域再生等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成22年10月8日(金) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。

○平成22年10月14日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について菅内閣総理大臣、前原外務大臣、柳田法務大臣、仙谷内閣官房長官、蓮舫国務大臣、海江田内閣府特命担当大臣、野田財務大臣、松本環境大臣、細川厚生労働大臣、玄葉国務大臣、馬淵国土交通大臣、北澤防衛大臣、岡崎国務大臣、高木文部科学大臣、自見国務大臣、櫻井財務副大臣、小宮山厚生労働副大臣、小幡参議院事務総長、政府参考人及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

[質疑者]

山本一太君(自民)、※林芳正君(自民)、
※衛藤晟一君(自民)、※猪口邦子君(自民)、
※西田昌司君(自民)、一川保夫君(民主) ※関連質疑

○平成22年10月15日(金) (第3回)

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について菅内閣総理大臣、松本国務大臣、大島経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、馬淵国土交通大臣、片山国務大臣、海江田内閣府特命担当大臣、細川厚生労働大臣、仙谷内閣官房長官、蓮舫内閣府特命担当大臣、野田財務大臣、柳田法務大臣、前原外務大臣、北澤防衛大臣、岡崎国家公安委員会委員長、福山内閣官房副長官、小

宮山厚生労働副大臣、櫻井財務副大臣、政府参考人、会計検査院当局、最高裁判所当局及び参考人日本銀行副総裁山口廣秀君に対し質疑を行った。

[質疑者]

一川保夫君(民主)、※森ゆうこ君(民主)、
※米長晴信君(民主)、※行田邦子君(民主)、
白浜一良君(公明)、※松あきら君(公明)、
小野次郎君(みんな)、山下芳生君(共産)、
藤井孝男君(日改)、福島みずほ君(社民) ※関連質疑

○平成22年10月25日(月) (第4回)

— 集中審議(経済・財政及び外交・防衛) —

- 予算の執行状況に関する調査のうち、経済・財政及び外交・防衛に関する件について菅内閣総理大臣、前原外務大臣、北澤防衛大臣、仙谷内閣官房長官、鹿野農林水産大臣、片山総務大臣、柳田法務大臣、玄葉国務大臣、蓮舫国務大臣、海江田内閣府特命担当大臣、大島経済産業大臣、野田財務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

川上義博君(民主)、磯崎陽輔君(自民)、
※森まさこ君(自民)、草川昭三君(公明)、
桜内文城君(みんな)、大門実紀史君(共産)、
片山虎之助君(日改)、福島みずほ君(社民) ※関連質疑

○平成22年11月17日(水) (第5回)

— 集中審議(外交防衛等) —

- 予算の執行状況に関する調査のうち、外交防衛等に関する件について菅内閣総理大臣、柳田国務大臣、仙谷内閣官房長官、前原外務大

臣、海江田内閣府特命担当大臣、大畠経済産業大臣、片山国務大臣、馬淵国務大臣、北澤防衛大臣、高木文部科学大臣、岡崎内閣府特命担当大臣、野田財務大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

中谷智司君（民主）、衛藤晟一君（自民）、
※山谷えり子君（自民）、加藤修一君（公明）、小野次郎君（みん）、井上哲士君（共産）、中山恭子君（日改）、福島みずほ君（社民）

※関連質疑

○平成22年11月18日（木）（第6回）

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十二年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について野田財務大臣から趣旨説明を聴いた後、菅内閣総理大臣、柳田国務大臣、仙谷内閣官房長官、北澤防衛大臣、馬淵国土交通大臣、前原外務大臣、蓮舫国務大臣、海江田内閣府特命担当大臣、玄葉国務大臣、野田財務大臣、細川厚生労働大臣、岡崎国家公安委員会委員長、大畠経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、片山総務大臣、安住防衛副大臣、篠原農林水産副大臣、森田総務大臣政務官、小泉国土交通大臣政務官、逢坂総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

世耕弘成君（自民）、※林芳正君（自民）、
※丸川珠代君（自民）、※宮沢洋一君（自民）、水戸将史君（民主）

※関連質疑

○平成22年11月19日（金）（第7回）

— 総括質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十二年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度政府関係機関補正予算（機第

1号）（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、仙谷内閣官房長官、細川厚生労働大臣、馬淵国土交通大臣、松本環境大臣、高木文部科学大臣、岡崎国務大臣、玄葉国務大臣、片山国務大臣、海江田国務大臣、鹿野農林水産大臣、柳田法務大臣、野田財務大臣、大畠経済産業大臣、前原外務大臣、自見国務大臣、五十嵐財務副大臣及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

水戸将史君（民主）、※金子恵美君（民主）、
※友近聡朗君（民主）、荒木清寛君（公明）、
※山本香苗君（公明）、小野次郎君（みん）、
※中西健治君（みん）、市田忠義君（共産）、
舛添要一君（日改）、吉田忠智君（社民）

※関連質疑

- 予算の執行状況に関する調査のため、本年9月7日の尖閣諸島沖での我が国巡視船に対する中国漁船の衝突事案をめぐる問題について海上保安庁に対し記録の提出を求めることを決定した。

○平成22年11月22日（月）（第8回）

— 一般質疑・集中審議（外交防衛・財政等） —

- 平成二十二年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

平成二十二年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、仙谷国務大臣、北澤防衛大臣、細川厚生労働大臣、大畠経済産業大臣、高木文部科学大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、野田財務大臣、前原外務大臣、海江田内閣府特命担当大臣、片山国務大臣、鹿野農林水産大臣、自見内閣府特命担当大臣、玄葉国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

・一般質疑

〔質疑者〕

佐藤ゆかり君（自民）、※佐藤正久君（自民）、
石川博崇君（公明）、松田公太君（みん）、
大門実紀史君（共産）、片山虎之助君（日

- 改)、吉田忠智君(社民) ※関連質疑
・集中審議(外交防衛・財政等)

[質疑者]

梅村聡君(民主)、宮沢洋一君(自民)、※丸川珠代君(自民)、西田実仁君(公明)、松田公太君(みんな)、大門実紀史君(共産)、片山虎之助君(日改)、吉田忠智君(社民)

※関連質疑

○平成22年11月25日(木)(第9回)

— 集中審議(北朝鮮問題等) —

- 平成二十二年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)

平成二十二年度特別会計補正予算(特第1号)(衆議院送付)

平成二十二年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について菅内閣総理大臣、前原外務大臣、北澤防衛大臣、仙谷国務大臣、岡崎国家公安委員会委員長及び高木文部科学大臣に対し質疑を行った。

[質疑者]

川上義博君(民主)、山本一太君(自民)、長沢広明君(公明)、小熊慎司君(みんな)、井上哲士君(共産)、中山恭子君(日改)、福島みずほ君(社民)

○平成22年11月26日(金)(第10回)

— 集中審議(懸案事項)・締めくくり質疑 —

- 平成二十二年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)

平成二十二年度特別会計補正予算(特第1号)(衆議院送付)

平成二十二年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について菅内閣総理大臣、北澤防衛大臣、仙谷国務大臣、片山国務大臣、細川厚生労働大臣、高木文部科学大臣、野田財務大臣、大島経済産業大臣、海江田内閣府特命担当大臣、松本環境大臣、前原外務大臣、樋高環境大臣政務官、政府参考人、最高裁判所当局及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも否決した。

- ・集中審議(懸案事項)

[質疑者]

森ゆうこ君(民主)、世耕弘成君(自民)、加藤修一君(公明)、上野ひろし君(みんな)、大門実紀史君(共産)、片山虎之助君(日改)、福島みずほ君(社民)

- ・締めくくり質疑

[質疑者]

森ゆうこ君(民主)、磯崎陽輔君(自民)、加藤修一君(公明)、桜内文城君(みんな)、井上哲士君(共産)、片山虎之助君(日改)、福島みずほ君(社民)

(平成二十二年度補正予算)

賛成会派 民主、社民

反対会派 自民、公明、みんな、共産、日改

○平成22年12月3日(金)(第11回)

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。